はばたき

第６５号 進 路 新 聞

令和３年９月２４日

福井東特別支援学校

●事業所さんいらっしゃい●　　（病肢高等部　６／４）

ネクステクノの事業所長である足田耕二氏をお招きし、「実習に向けての心構え」というテーマでお話を聞きました。

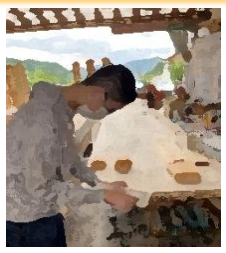
まず「何のために仕事をするのか？」について、「収入を得て生活に必要なお金を稼ぐため」「自分の持っている力を社会に提供するため」の２点が挙げられました。次に「一般就労と福祉就労の違い」について、Ａ型事業所とＢ型事業所の違いも明らかにしながら説明して下さいました。それから「実習の時に気をつけること」として、あいさつや時間を守る等の他、「周りの人に感謝や謝罪ができる」ことが挙げられました。「最初からうまくやれないことは実習先の人も分かっています。仕事の能力よりも皆さんの人間性を一番に見ています。苦手なことを最初にきちんと伝え、できることをしっかりこなしましょう。仕事では、協調・連携が求められます。相手に意見や質問をしっかりしましょう」との言葉が印象的でした。

●春の現場実習●（病肢高等部　６／２２～７／１４）

自分に合った進路先を見つけるために、また卒業後の生活を考えるために、それぞれの目的に合わせた見学や実習を行いました。２，３年生は実習先からの評価を参考に、今後どのような力を身に着けていくとよいのか確認できたと思います。秋の現場実習がより良い実習になるよう、今後は保護者の方やクラスの先生とよく相談し、事業所の情報も積極的に収集するなどして準備をしていきましょう。

１年生は３日間の校内実習を行いました。全体作業、選択作業、講義の内容で行い、全体作業では、プラスチックスポイトのバリ取り、菓子箱などの蓋はめに取り組みました。これらの物品は、事業所からお借りした物で、生徒たちは、事業所からの注意事項を常に意識し真剣に取り組んでいました。遠隔授業では、本校卒業生が働く事業所と中継をつなぎ、先輩から就労に関する話を聞きました。今回の校内実習を経験して、働くことや仕事の大変さを実感し、また今後に向けて困った時は自分から相談ができるようする、集中して作業に取り組む力を付けるなど、新たな目標が見つかったようです。目標が達成できるよう普段の学校生活の中でも意識して取り組んでいきましょう。

２年生は１～２か所、３年生は１～３か所でそれぞれ見学や実習を行いました。これらの経験を踏まえて２年生は秋の実習先を、３年生は就労先を決めていきます。特に３年生は、最長で３週間の実習期間を設けた人もいましたが、１日も休むことなく頑張りました。実習を通して、働き続けるための体力と、従業員やお客様とのコミュニケーションの大切さを学びました。実習先からの評価を見ると、あいさつがまだまだできていないようなので、秋の実習ではしっかりとあいさつをし、進路決定に向け進んでいって欲しいです。２年生も、自分の将来に向けやりたい仕事を経験できたようなので、その経験を活かしていってください。



●卒業生から在校生・保護者へメッセージ●　～進路についてのアドバイス～

今年度も過去５年間に本校高等部を卒業した方とその保護者の方に近況調査を行いました。一部ご紹介します。

病肢部

卒業後にいろいろ考えて、働き方を変えながら仕事をしています。そしてようやく定まってきた気がします。自分が生きやすくいられそうなところで、できることからやってみるのがいいのかなと思ったりします。

就労移行支援事業所に通っています。最近、電話対応の練習を始めました。進路を決めるときは、先生や親とたくさん話をしながら決めていくとよいと思います。

Ａコース

事業所の見学は大事です。我が子に合うかどうかが一番大切なポイントなので自分の目で見て担当者から話を聞いてください。その時に自分の思いや考えも伝えてくださいね。

高等部もしくはそれ以前から卒業後のことについて具体的に考え、調べ、各関係機関とつながっていく必要があると思います。

●教職員事業所見学会●　（７／２７）今年度は４か所の事業所へ見学に行きま

「オレンジキッズケアラボ」は、放課後等デイサービス、児童発達支援事業、保育所等訪問支援、生活介護事業、相談支援事業に取り組まれています。令和２年７月に新拠点に移転し、事業所内は新しく広々とした印象ですが、個別スペースも確保されています。看護師が常駐しており、医療的ケアのある利用者の方もそれぞれの場所で好きな活動を選び、落ち着いて過ごされていました。

「なないろキッズ」は、放課後等デイサービス事業に取り組まれており、令和２年度に開所された事業所です。看護師が常駐しています。季節のイベントに合わせて制作活動を行ったり、ミュージックケアやアロマトリートメントを行ったりしています。建物の裏側には畑があり、野菜を収穫したり散策したりすることもできます。

「Rose＆Farm はぐくみ」は、今年度からできたＢ型継続支援事業所です。ビニールハウスと事業所の２カ所があり、午前中の涼しい時間帯にビニールハウス内でバラや農作物の手入れや収穫、出荷準備を行い、暑くなった午後には、事業所内で出荷に向けた作業や事務作業を行います。体力は必要ですが、利用者ひとりひとりに合った作業を工夫してくれます。

「タクティクス」は、福井駅近くの南営業所と、運動公園近くの西営業所があります。南営業所は３階建てのビルで、１・２階に作業場があり、利用者の方が、自分に合ったいろいろな仕事をしています。機械の部品を箱の中にきれいに並べたり、床の見本を台紙に貼り付けたりと、作業内容は豊富です。無料の自動販売機があり、休憩中に食べるお菓子も食べ放題らしいです。

●進路相談会●　（中学部・高等部Ａコース　8/１９、8/２０）

今年度も必要に応じて中学部・高等部Ａコース生徒の進路相談会を計画しました。いずれも計画相談支援専門員の方と地区障がい相談事業所の方をお招きして相談の層を手厚くし、ケースによっては主治医や卒業後の生活を視野に入れた事業所の方や、現在利用している放課後等デイサービスの方も同席し、目の前のことはもちろん視野を広げるということも考えながら計画しました。しかし、緊急事態宣言の発表に伴い、一部中止したり参加者を減らしたりオンラインを活用したりと、いろいろ工夫を重ねながら実施しました。

結果的に高等部２年生と３年生の相談会となりましたが、いずれも卒業後の進路先を見据えて、保護者と相談支援専門員と学校で今取り組むべき課題は何か話し合いながら探ることができました。また、保護者の悩みや事業所の不安を出していただき、相談支援専門員や学校がそれに応えたり、オンラインで実際の生徒の状態を見せたりして解決を図りました。

今回中止となった相談会については、個別に電話や Zoom を使って保護者と秋の実習に向けて相談したり、別日に会議を開いたりして、関係機関との連携を切らさないように進めていきたいと考えています。

●校長先生より●

一昨年度卒業したある若者を職場に訪ねました。その時の対応の素晴らしいこと。一顧客としての対応はもちろんですが、挨拶から受け答えまで立派な社会人としての風格を帯びていました。本校に在籍していた頃の弱々しかった様子からは想像することができない成長ぶりでした。たった一年と数ヶ月で、社会はここまで育ててくれるものかと感心させられたと同時に、本校の教育について考えさせられもしました。このコロナ禍の中で子どもたちにどれだけのことをしてあげることができているのか、改めて再考していく必要があると痛感した再会でした。２学期は一番成長する時期です。子どもたちとの日々のかかわりを大切に、将来の一人一人の自立をめざしてきめ細やかな対応に努めていきたいと思います。修学旅行、遠足、そして高等部は現場実習と外へ出る機会も多くなります。コロナだから中止するのではなく、with コロナとして今できる最大限のことにチャレンジしていきたいと考えています。